



へん せい がん 変成岩

けっしょうへんがん ●結晶片岩



表 面：緑・黒・白色などがあります。石の表面に光をあてると、細かくキラキラと反射します。石を横から見るとしま模様になっていて、うすく割れやすいです。

形：平たい形のものが多いです。

でき方：強い圧力で押しつぶされ、もとの岩石の中に新しい鉱物こうぶつができたものです。緑色片岩りょくしょくへんがん（玄武岩起源）、黒色片岩くろしょくへんがん（泥岩起源）、石英片岩せきえいへんがん（チャート起源）などがあります。

天竜川での分布：南アルプスの西側。三峰川、小渋川、遠山川などに分布します。

かん ●へんま岩



表 面：白いつぶと黒いつぶがしま模様に並んでいます。

形：結晶片岩より少し厚みがありますが、平たく丸みのある形です。

でき方：結晶片岩よりさらに熱や圧力が加えられてきた岩石です。

天竜川での分布：中央アルプスの山麓から伊那山地、大田切川、三峰川などに分布します。

●ホルンフェルス



表 面：表面は黒色で、赤紫色を帯びます。とても固く、石のぶつかったあとの細かいキズが目立ちます。

形：角がとれた多角形のものが多いです。

でき方：高い熱が加わってできた岩石です。熱で砂岩や泥岩などもとの岩石の中に新しい鉱物ができます。

天竜川での分布：中央アルプスの北側、小黑川などに分布します。

じゃもんがん ●蛇紋岩



表 面：黒っぽい青緑色です。表面はすべすべしています。クギでこすると簡単にキズがつきます。

形：角がとれた多角形のものが多いです。

でき方：マグネシウムの多いかんらん岩とよばれる岩石が変質し、新しい鉱物ができる岩石です。

天竜川での分布：南アルプスの西側、三峰川、小渋川、遠山川などに分布します。